

## 分科会1

## ブックトークって楽しい！ ～はじめの一步～

講師：青木 淳子

(元さいたま市立小学校図書館司書)

実演：和田 幸子

(千葉県袖ヶ浦市立昭和中学校読書指導員)

ここでは、ブックトークについての基礎的なことを学びながら、実演を聞き、実践に生かしていくことを目的とします。ブックトークを聞く機会はなかなかないですが、小学校と中学校の二つの事例から、自分自身で楽しさを味わい、子どもたちにそれを伝えていきたいものです。

### 講義■ブックトークとは？

①ひとつのテーマにそって、あるいは何らかの関連性を持たせて、数冊の本を順序良く紹介すること ②目的は「本を読みたい」と子どもが思ってくれるように ③人の口から直接語られる ※5年生の国語の教科書『銀河』(光村教育図書)には「ブックトーク：テーマを決めて、何さつかの本を口頭で紹介すること」と掲載されている。これで、ブックトークという言葉は広く認知されてくると思う。

実演■《どんな家に住みたいですか》青木淳子  
(小学校中学年向き)

- ①『オンネリとアンネリのおうち』クレンニエミ/文 カルマ/絵 渡部翠/訳 プチグラパブリッシング
- ②『ティリーのねがい』ジェイクス/作 小林いづみ/訳 こぐま社
- ③『火曜日のごちそうはヒキガエル』エリクソン/文 フィオリ/絵 佐藤涼子/訳 評論社
- ④『ジャクソンねこのほんとうの家』ポール/作 ハリソン/絵 清水真砂子/訳 童話館出版
- ⑤『こんにちは、ビーバー』佐藤英治/文・写真 福音館書店

※シナリオは参考図書参照

この紹介を聞いて、そんな本があったのか、今度読んでみようかな！と思われたとしたら、今日の私のブックトークは成功だったというわけです。小学校の中学年以上がやりやすい。低学年には絵本の読み聞かせやストーリーテリン

グなどで、本そのものを届けたい。

実演■《ベストフレンドの見つけ方》和田幸子  
(中学校1年生向き)

- ①『人気者になる方法』メグ・キャボット/作 代田亜香子/訳 理論社
- ②『妖怪アパートの優雅な日常』香月日輪/著 講談社
- ③『きみの友だち』重松清/著 新潮社
- ④『リバウンド』E・ウォルターズ/著 小梨直/訳 福音館書店
- ⑤『あなたのたいせつなものはなんですか？』山本敏晴/著 小学館
- ⑥『ひとりの時間』華恵/著 筑摩書房

※シナリオは参考図書参照

中学生になると、こちらの問いかけにみんな答えてくれるとか、反応をどんどん返してくれるということも多いので、三択クイズや書いてもらおうとか参加できる工夫する。

学校図書館で行うとき、「椅子ごと体話し手の方向へ向けましょう」話を聞きやすく本が見やすい座り方ができるように指示しておくことが大切です。ブックトークをしていない学年の生徒達のためにコーナーを作ると効果的です。

### 講義■ブックトークを作りましょう

ブックトークを作るには二つの考え方がある。  
○ぜひ紹介したい本がある場合：子どもの興味関心がありそうなテーマをさぐっていく。  
○初めにテーマがある場合：年中行事が多い。

### 講義■ブックトークに使う本の選び方

- 1 対象となる子どもにあった内容のもの：ブックトークは対象の子どもの年齢が決まっている方がやりやすい。学校でやるのが一番
- 2 あなたがおもしろい、子どもに是非紹介したいと思っているもの：基本姿勢「ねえ、この本面白いよ、読んでみて！」
- 3 子どもの立場になって子どもにとってどういふ本かきちんと評価する：子どもの心を成長させることができる本を選ぶことが大切
- 4 見た目は地味だけど、実際に読むとおもしろい、という本を入れておく：これがブックトークの醍醐味
- 5 独りよがりにならないように本のリストなども参考にする：定評のある子どものブックリストなども参考にする
- 6 子ども達に紹介するに値する良い本を選ぶ：この本は良い本だから読みなさい！という命令形ではなく、この本面白いから読んでみて、という紹介で子どもに本を勧めるのがブックト

ーク

7 季節感も考える

8 盛りだくさんにしない：本は数冊から7冊ぐらい、時間は30分以内



### 講義■ブックトークを作ってみましょう!

候補の本を順番に並べ、テーマを子どもの興味を引くネーミングに工夫し、出だしの言葉と、本と本のつながりの言葉を考え、1冊ずつの本のどの部分を紹介するかを考える。どの挿絵を見せる?どこを読み聞かせる?あらすじをどこまで紹介する?絵本を入れて全部読み聞かせるのも良い。気を付けることは似た内容の本が並んでいないか?同じ程度の本が並んでいないか?科学やノンフィクションは入っているか?

### 講義■もっと簡単なブックトークを作ってみましょう(2冊でやる5分のブックトーク)

おはなし会、絵本の読み聞かせ会、朝読の余った時間にやってみよう。

#### ①対象学年とテーマを決める ②本を選ぶ

- ・全く違う種類の本を組み合わせる。物語の本とノンフィクション。絵本と科学読み物。
- ・自分が自信を持って勧められるもの
- ・その学年にあったもの
- ・子どもに紹介するにふさわしい内容のもの

#### 例《リュックサックのなかみはなあに?》

(小学校低学年向き)

- ①『エルマーのぼうけん』 R.S.ガネット/文 R.C.ガネット/絵 わたなべしげお/訳 福音館書店②『はじめてのキャンプ』 林明子/文・絵 福音館書店

2冊とも物語だが、物語の舞台が外国と日本、主人公が男の子と女の子、最大の違いはファンタジーと日常的なキャンプ。読んだ後に受けるイメージは全く違う。

#### 実演■《木の上の家》 青木淳子

(小学校中学年向き)

- ①『おおきなきがほしい』 さとうさとる/ぶん む

らかみつとむ/え 偕成社 ②『鳥の巣ものがたり』

鈴木まもる/文・絵 偕成社

おはなし会のおまけでやる時は、やさしめな本がやる方も聞く方も楽です。

#### 【質疑応答】

問：ブックトークをする時、著者名や出版社などの書誌事項をいったほうがよいか?

青木：その時には言わなくていいが、できるならば書誌事項(書名・著者・訳者・出版社)のリストを各人に渡すか、紙に書いてクラスで1枚掲示すると良い。

問：低学年に紙芝居をしている。最後に「おしまい」と言ったところで、プツッと切れてしまう。何か終わるときのヒントをほしい。

青木：プツッと終わるのがいい。余韻は、子どもの心の中で起こる。

問：障害者についても読み物としていい作品があるので紹介したいなど思っているが、授業の関連でブックトークした例などを教えてほしい。

青木：障害者とか福祉などブックトークをやったことはある。福祉など幅が広く、調べ学習などでは手話・点字・車いす・盲導犬・バリアフリーなど多岐にわたる。こんな本があるとか、ここにあるよとか、先生と打ち合わせして行っていた。

和田：沖縄戦についてのブックトークを行ったときは、朗読や説明を先生にしてもらい、本の紹介の部分は学校司書が行うという、二人で行うブックトークのシナリオを作った。「授業でこんなにやったら子どもの頭はパンクしちゃうかもしれないよ。」など先生にシナリオを削ってもらったこともある。次の年に、去年はこんなでしたがどうでしょうかと相談もできる。先生との打ち合わせが大切です。

問：季節感あるいは教育現場で難しいテーマはありますか?

青木：クリスマス等の宗教がかかわるものは、いつも先生に相談して行っていた。いじめについても難しかった。

参考図書『キラキラ応援ブックトーク～子どもに本をすすめる33のシナリオ～』キラキラ読書クラブ/著 岩崎書店 『学校司書と先生のためのすぐできるブックトーク～小・中学校・高等学校のわかりやすいシナリオ集～』和田幸子他著 ミネルヴァ書房